

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年4月16日
研究終了日	2026年12月31日まで
研究の名称	高齢者初発急性骨髄性白血病に対するCA治療とVenetoclax治療の単施設後方視的解析
研究対象	2009年1月1日以降2023年12月31日までに市立豊中病院で診断された65歳以上初発急性骨髄性白血病症例のうち、IDA/AraC(idarubicin・cytarabine併用療法)もしくは、DNR/AraC(daunorubicin・cytarabine併用療法)以外の治療で治療された患者、またはVenetoclax含有レジメンで治療された患者
対象材料	診療記録
対象期間	2009年1月1日以降2023年12月31日
研究の目的意義	初発急性骨髄性白血病に対しては、IDA/AraC(idarubicin・cytarabine併用療法)もしくは、DNR/AraC(daunorubicin・cytarabine併用療法)が標準治療として行われていました。しかし、高齢症例では、合併症や臓器能の低下のため、治療強度の強いIDA/AraC、DNR/AraCといった標準治療を導入することができず、治療強度を落とした化学療法が広く行われていました。BCL2阻害薬Venetoclaxが2019年に本邦でも承認され、高齢初発急性骨髄性白血病症例に対し、広く使用されるようになりました。本試験では、当院における高齢者初発急性骨髄性白血病に対する既存治療とVenetoclax治療の成績を比較することで、今後の高齢者初発急性白血病に対する治療に役立てることを目的としています。
方法	診療録から、臨床経過、治療内容と予後(全生存率、無増悪生存率)、有害事象を解析します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報は、電子カルテ内のみで安全に管理しており、個人情報が外部に流出することはなく、研究結果から個人が特定されることもありません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 血液内科 小杉智 住所:豊中市柴原町4-14-1 電話:06-6843-0101